

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
1	とんだばやし未来 代表質問 6番 南齋 哲平  (質問方式) 一問一答	1. 金剛地区のまちづくりについて	①ピュア金剛跡とふれあい大通りを一体的な広場空間として整備する事に関して具体的な計画内容とその進捗状況を聞く ②金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画策定における進捗状況について ③金剛中央公園・多機能複合施設の整備をどのように市民の思いを取り入れた内容にするのか具体策を聞く ④金剛駅前の活性化に向けた大阪狭山市ならびに南海電鉄などの民間事業者との連携状況について
		2. おでかけしやすい環境づくりについて	①公共交通の充実に向けて活用可能な移動手段の洗い出しの必要性と具体的な手法に関して市の見解を聞く ②「地域公共交通計画」の策定状況を聞く ③藤沢台七丁目地域ならびに彼方上地区における取り組みを今後もしっかりと行政が支えていくべきと考えるが、その件に関しての市の見解を聞く ④今後の地域公共交通に関してすべての人がおでかけしやすい環境づくりに取り組むべく、国の事業活用や受益者負担の観点も含め、その活性化を推進する事が必要と考えるが、市の見解は ⑤現在、歩道・遊歩道の改修はどのような計画のもとで行われており、またその計画はどのように立てられているのか ⑥利用者の多い箇所の改修を優先的に行うなど効果的に財源投入できているのか ⑦金剛東「りぼんどおり」などの現状を鑑み、車いすやショッピングカートを利用している方々の立場に立った歩道・遊歩道の改修の必要性をあらためて訴えるが市の見解は ⑧歩道・遊歩道の改修にかかる財源確保にむけて取り組んできた経過について
		3. 中学校の運動部活動に関して、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」において出された提言内容を踏まえ、本市として取り組むべき内容について	①これまでに部活動の充実に向けて本市が取り組んできた内容を聞くとともに、今後に向けてまずは提言内容を精査し本市独自のプランニングを行うことが必要と考えるが、市の見解は ②運動部活動の地域移行に関して受け入れ先となる団体等の調査把握の必要性とその手法について ③地域移行後も引き続き指導を希望する教師等のためにも兼職兼業の申請の簡略化など手続きの整理等を本市独自で行う事に関して ④運動部活動の地域移行に関して専門機関を設置することについて
		4. 避難訓練について	①コロナ禍による「富田林市避難所運営マニュアル」の修正に伴う各種訓練の実施について。および、避難所担当職員のマニュアルの理解について ②夜間の避難訓練の実施及び普及啓発について
		5. 可燃ごみの処理に関する課題について	①相次ぐ清掃工場の火災・爆発事故の内容と復旧に要した予算について ②大阪府内の可燃ごみ回収実施状況について ③「指定ごみ袋制」の導入について検討を

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		<p>6. 戸籍謄(抄)本・住民票の写し等の第三者請求に対して、現行の「事前登録型本人通知制度」から「全通知制度」にすることについて</p>	<p>①事前登録型本人通知制度導入の経緯および現状について ②本市における不正請求が疑われる事案について ③市民への「全通知」の導入について</p>
2	<p>日本共産党 代表質問 17番 岡田 英樹</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	<p>1. 気候危機打開への積極的な市の取り組みをもとめて</p>	<p>(1) 富田林市の脱炭素化社会の実現にむけての、地球温暖化対策推進計画の策定についての進捗状況は ①新庁舎建て替えて、省エネと再生可能エネルギーの活用の具体化は ②脱炭素化を実現するために、地元企業と独自の協定や、省エネ投資への自治体独自の支援、断熱・省エネルギー住宅へのリフォーム、太陽光発電用パネルの設置などへの助成は (2) 大規模な太陽光パネル施設の建設については、産廃の処分地や乱開発による土砂崩れなど、災害発生防止のための市独自の対策は (3) 富田林市が「気候非常事態宣言」を出し、課題と目標と計画を明確にして、この問題に取り組むべきだと考えるが、見解を聞く (4) 課題の推進には、省エネと再生可能エネルギーの導入をはじめ、地球温暖化対策推進計画の策定が必要、市役所内の専門の担当部署と職員の配置は</p>
		<p>2. 少人数学級の拡充を求めている</p>	<p>(1) 少人数学級編制を確保する財源の確保など、国にどのような働きかけをされ、どのような回答が返ってきているか (2) 少人数学級の教育効果についての市の考えを聞く (3) 支援学級の子どもの数を普通学級に含めるダブルカウントで学級編制を (4) 富田林の子どもたちに豊かな教育環境を確保するために、30人学級の実現をもとめるが、見解は</p>
		<p>3. 学校給食の充実をもとめて</p>	<p>(1) 中学校における全員給食の実現を ①各市ですすむ状況を見て、中学校の全員給食についてどう考えるか ②最新の市内の中学校給食喫食率は ③本市の中学校の生徒及び教職員総数に対し、現在の調理設備で提供できる食数割合は ④生徒全員に給食を提供できるためには、どのような対策と改修が必要か ⑤私たち日本共産党議員団は、長年、中学校給食は選択制ではなく、全校生徒を対象にした温かくて美味しい給食を、と訴え続けてきたが、全員給食が可能な調理場に施設改修をし、栄養バランス、食育、公平性の観点からも、全員喫食の中学校給食に踏み切るべき時だと考えるが、市の見解は (2) 本市でも市の独自施策として、国に先駆けて学校給食の無償化を (3) 中学校給食も無償化していくことを見据えて、当面、就学援助の対象に。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		4. 公共交通の充実をもとめて	(1) 市内の公共交通の状況の変化について ①民間事業者のバス路線の縮小・廃止などは10年前と比べてどのように変化しているのか ②レインボーバスのルート縮小の状況は (2) 交通不便地の交通形態として、藤沢台7丁目地域と彼方上地区の2地区の取り組みと、レインボーバスのあり方が検討されているが進捗状況は (3) 市内のバス路線の縮小や、レインボーバスの路線確保や拡充に国の補助金を活用することや、市の交通施策として市民の移動を助ける方向は (4) 移動困難者となる高齢者の交通手段の確保について、高齢者がバス・タクシー乗車に利用できる「お出かけ支援チケット制度」を導入の検討を (5) 富田林市でも、運転免許証を自主返納された高齢者の方に対し、移動を助ける特典の創設を (6) 高齢者の電車利用を援助するために、駅にシニアカーの駐車場スペースが必要だと考えるが、見解は (7) 鉄道の利用者からの要望 ①市として近鉄電車と協力して、富田林西口駅にホームドアの設置や駅員の無人化に対する、安全対策が必要では ②喜志駅を安全に利用できるために、学生専用出口の開設を
		5. 加齢性難聴者への補聴器補助などをもとめて	(1) 本市でも補聴器助成制度を創設することについては、高齢者の皆さんの心身の健康を守り、高齢者の社会参画を促進するためにも、重要な施策であると考え、制度の実現を求めるが見解は (2) 特定健診等や後期高齢者健康診査の項目に聴力検査を入れるよう国に働きかけること
3	自由民主党 代表質問 1番 西川 宏  (質問方式) 一問一答	1. 本市における自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について	(1) 令和2年12月の閣議決定後、今までどのように取り組んできたのか。 (2) 行政手続きのオンライン化について、どのように取り組んできたのか。またその内容や実績は。 (3) 職員の働き方改革について、今までの取組と今後の課題。 (4) 自治体DX推進に対して今後の方針、方向性について市の見解を聞く。
		2. 地域社会のデジタル化について	(1) マイナンバーカードの普及促進について ①現在の普及状況及び今後の申請促進方法はどのようにしていくのか。 ②保険証として利用できるようになってきているが、自分で手続きできない方への支援はどのようにしているのか。 ③保険証として利用できる医療機関その他機関の数は。 ④市ウェブページを確認したが、被保険者が利用可能な機関をもっと検索しやすいようにしてもらえないか。 (2) 地域社会のデジタル推進について ①地場産業の高度化や新たな産業の創出への本市の取組について。 ②高齢者等に向けたデジタル機器に関する講座等のサポートについて、これまでの実施の内容とその頻度、これからの取組について。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 本市の防災について	<p>(1) 本市の災害対応について</p> <p>①大規模災害等発生時の初動体制はどのようになっているか。</p> <p>②消防本部や社会福祉協議会など関係機関との連携について。</p> <p>(2) 防災教育などの活動について</p> <p>①本市職員は防災研修などへの参加はしているのか。またその内容は。</p> <p>②小中学校・幼稚園・保育所・子ども園等での防災教育について、現状どのような取り組みをしているのか。</p>
4	<p>大阪維新の会・無党派の会</p> <p>代表質問 11番 伊東 寛光</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	1. 災害時の地域防災力の向上を目指して	<p>(1) 停電時に重要な避難所の発電機能について</p> <p>(2) 令和3年1月に大阪府より公表された浸水想定区域の周知と町会等防災マップの改訂について</p>
		2. 人とまちがにぎわう元気なふるさと富田林を創る	<p>(1) 企業版ふるさと納税制度について</p> <p>①本制度導入に係るこれまでの経過と運用に必要な周知と働きかけについて聞く。</p> <p>(2) 森林環境譲与税の有効活用を求めて</p> <p>①税のこれまでの現状と有効活用のための税の使途に関する方針や方向性を定める必要があるのでは。</p>
		3. 相次ぐ幹部職員の退職について。	<p>(1) 相次ぐ幹部職員の退職について、組織としてどのような問題意識を持っているのか。</p> <p>①このような問題が発生した、考えられる原因は何か。</p> <p>②原因が分からないのであれば、なぜ理解しようとしめないのか。</p> <p>③事後にでも本人を含む関係者に協力してもらい、原因の究明に努めるべきではないか。</p> <p>(2) 本市は人材の流出についてどのような見解を持っているのか。</p> <p>(3) 再発防止のためにどのような対策を考えているのか。</p>
		4. 適正な行政執行の確保のために。	<p>(1) 行政対象暴力について本市は現状をどのように捉え、どのような対策を行っているのか。</p> <p>(2) 行政対象暴力の未然防止や適切に対処するための取り組みについて。</p> <p>①「富田林市不当要求行為等対策標準マニュアル」は、どこまで浸透・徹底されているのか。</p> <p>※特に第3条「個別マニュアルの作成」、第4条「所属職員への周知・啓発等」について、状況等を問う。</p> <p>②「富田林市不当要求行為等対策標準マニュアル」を公表してはどうか。</p> <p>③行政対象暴力対応研修を充実させてはどうか。</p> <p>※可能な限り全職員が必須で受講できるように調整してはどうか。</p>
		5. 学校教育施設の統廃合や学校区の再編等について。	<p>(1) 富田林市学校教育施設長寿命化計画に示されている、「適正規模・適正配置の基本的な考え方」に則した検討は、いつからはじめるのか。</p> <p>(2) 学校区の再編について、学校選択制も視野に入れて検討してはどうか。</p> <p>(3) 学校間での学校教育施設の共同利用等について。</p> <p>※学校のプールを学校間で共同利用するなどして、施設の維持費等を節約できないか。</p> <p>※民間のプールの活用の可能性についても言及する。</p> <p>(4) 小・中学校の機能統合について。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
5	ふるさと富田林 代表質問 4番 吉年千寿子  (質問方式) 一問一答	1. 富田林市男女共同参画20年の検証  2. 防災における女性参画と女性の視点導入の経過について  3. 女性消防職員の増員と救急救命士の処遇改善について  4. 小中一貫教育の推進について  5. 地域の特性・実態に応じた教育の選択肢を増やすことについて	(1) 本市男女共同参画計画ウィズプランの位置づけと役割について (2) 各種委員会・審議会等への女性参画の状況の経緯と課題について (3) 本市正規女性職員の管理職登用の状況の経緯と課題について (4) 本市非正規女性職員の待遇改善の経緯とジェンダー課題について (5) 女性問題講習会の経緯と男女共同参画活動助成金制度の活用について (6) 男女共同参画センター「ウィズ」の活用実績と人権文化センター内に統合されてからの今後の展望について  (1) 防災会議への女性参画の経緯と課題について (2) 避難所運営マニュアルに基づく避難所運営での女性参画と女性の視点導入の推進について  (1) 女性消防職員の採用の経過と現状、今後の課題について (2) 女性救急救命士の勤務体制と処遇改善について  (1) 施設併設型同等の施設整備について (2) 中学校教員の乗り入れ授業による負担軽減の対応について (3) 他の中学校区での今後の取り組みと展開について  (1) 小規模特認校の設置について (2) 校内適応指導教室の校区制度の柔軟な運用について
6	公明党 代表質問 8番 村山 理恵  (質問方式) 一問一答	1. 更なる教育施策の充実について	(1) 「小1プロブレム（小1問題）」の課題改善に向けた体制作りについて ①本市の「小1プロブレム」の認識と、現状の対応について ②本市としての、小学校・幼稚園・保育園・保護者など当事者を含めた協議会の設置や教育カリキュラムの検討について (2) 新学習指導要領に基づく地球温暖化を踏まえた環境教育の推進 ①学校の太陽光発電による過去3年間の年間発電量と環境教育への展開をどのように行ってきたのか、について ②これまでの「エコスクール」の取り組みについて聞く ③本市小中学校を「エコスクール・プラス」として認定を受けることも含めて、環境教育にどのように取り組んでいくのか

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 誰もが便利でわかりやすいデジタル化の推進	(1) 役所に来なくてもいい「デジタル支所」の開設を求めて ①本市で利用できるオンライン手続きについて ②オンライン手続きの今後について ③ウェブサイト等にオンライン手続きを集約した専用ページ「デジタル支所」の開設を求めるが、本市の見解は？ (2) マイナンバーカードのさらなる取得促進と新たな活用について ①マイナポイントのさらなる周知に向けた取り組みについて ②自治体マイナポイント事業を利用した市独自の給付施策について ③マイナンバーカードにおける図書館利用者カード等の機能付与などで、新たな利便性の向上を
		3. 市役所の利便性と公共施設の快適性の向上のために	(1) 難聴者や中途失聴者の様々な相談にお応えするために、会話を文字化する静岡県焼津市の会話表示システムの導入を求めて (2) 本市に本籍がない市民が、容易に戸籍証明書を取得するため、マルチコピー機を設置してはどうか (3) 市内公共施設の男性用トイレに、サンタリーボックスの設置を求めて
	4. 安心、安全なまち富田林市		(1) 被災者の安全確保、帰宅困難者対策、情報提供 ①大規模災害時の一斉帰宅の抑制等に向けた取り組みについて a)本市、中小企業団地内企業へのBCP策定の推進、及び被災企業の従業員の避難について ②帰宅困難者の一時滞在施設の確保と備蓄品の確保、情報提供について a)「防災チャットボット」などのAI等の最新技術の活用を求めて (2) 町会等が設置する防犯カメラの設置状況や維持管理について ①町会等が補助制度を活用して設置した防犯カメラの現状について ②防犯カメラの管理体制と機器点検や修理等の補助制度創設を含めた維持管理について ③今後の普及促進について (3) 市設置型の防犯カメラの計画的な更新やその手法について
		5. 市民の健康を守る	(1) コロナ禍で増えている帯状疱疹について ①帯状疱疹ワクチンの助成制度の検討について ②帯状疱疹ワクチンの定期接種化に向けての現状について
		6. 市民協働活動の輪を広げる取り組みについて	(1) 個人のゴミ拾いや、地域の清掃活動を見える化するアプリを導入して市民の協働意識を醸成する仕組みの構築について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
7	<p>13番 村瀬喜久一 郎</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	<p>1. 本市における外国人妊産婦等への対応・取組について</p> <p>2. 本市におけるインポスター症候群への対応・取組について</p> <p>3. 本市におけるパートナーシップ制度等の運用・取組について (令和4年度施行予定の「ファミリーシップ制度」の運用・取組も含めて)</p>	<p>(1) 「指差しお産ボード」・「指差し産後健診・訪問ボード」等の活用について (民間NPO等との連携も含めて)</p> <p>①妊娠届受付時の配布等について (東京都豊島区での事例を参考に)</p> <p>②本市ウェブサイト等への掲載について</p> <p>③妊娠中の活用について (本市内に所在する医療機関等との連携も含めて)</p> <p>④出産後の活用について (「こんにちは赤ちゃん訪問」をはじめ、健診等の際の活用も含めて)</p> <p>(1) 本市における周知について</p> <p>①「広報とんだばやし」等での周知について</p> <p>②本市職員への周知および相談体制等について</p> <p>③本市内に所在する事業所等への周知について</p> <p>(2) 「インポスター症候群ゼロ運動」について (福井県鯖江市での事例を参考に。民間との連携も含めて)</p> <p>(1) 「ファミリーシップ制度」施行に向けての進捗状況およびその内容について</p> <p>(2) パートナーシップ宣誓者およびファミリーシップ宣誓者への本市役所等における配慮について(自治体間の連携も含めて)</p> <p>(3) パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓を受けて、住民票の続柄欄での「同居人」との記載を「縁故者」と改めることについて(兵庫県明石市・埼玉県久喜市での事例を参考に)</p> <p>(4) 当事者の方々への里親制度の周知等について</p> <p>(5) 本市内に所在する事業所等への周知や、連携等について (「LGBTフレンドリー企業」の取組みとの連携も含めて。また、大阪市・札幌市での取組も参考に)</p> <p>(6) 本市役所等での環境整備について (来庁する当事者・当事者職員の双方を意識した環境整備について)</p> <p>①現庁舎内等での更衣室・トイレ・健診時等の配慮・環境整備について</p> <p>②庁舎建て替え後の更衣室・トイレ・健診時等の配慮・環境整備について</p>
8	<p>18番 中山 佑子</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	<p>1. 公文書管理について</p>	<p>わたくしが当選してから3年が経ち、残すところあと1年となりました。さて令和元年6月議会において、令和という元号は、万葉集の歌人であり、文人政治家でもあった大伴旅人の「梅花の宴」が由来となっているということ、そしてこの歌には、藤原氏の陰謀により自害せざるを得なかった天武天皇の孫の長屋王への思いをうたっているとご紹介させて頂きました。</p> <p>現在、この長屋王は、長屋王家木簡で注目されています。奈良時代の超有能な左大臣である長屋王の屋敷跡から木簡が合計11万点も発掘されました。文書木簡は、今でいう公文書に該当すると考えられます。わたくしは、奈良時代において公文書を適切に管理していた長屋王への尊敬の念に堪えません。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>また同じく令和元年6月議会において、本市の公文書管理問題を指摘させて頂きました。</p> <p>そして、松田副市長から「今後とも、私はもとより、組織全体といたしまして、文書管理の重要性をしっかりと認識し、公文書全般について適正な管理、取り扱いの徹底を図ってまいりたいと、そういうように考えております。」とのご答弁がありました。</p> <p>しかし残念ながら、本市の公文書管理は、現在調査中ですが今のところ、大阪府内の自治体でワーストです。</p> <p>わたくしは、知る権利ネットワーク関西に所属し、大阪府内自治体の情報公開・公文書管理について調査研究しております。</p> <p>情報公開部門では、大阪府内ワースト自治体である柏原市の公文書管理及び保存状況を調査しました。</p> <p>柏原市では、他人の土地を使用するときの同意書を、上水が昭和53年以降、下水が平成7年以降、公文書として保存していました。</p> <p>本市は、他人の土地を使用するときの同意書を、上水が平成24年以降、下水が平成29年以降のものしか、公文書として保存していません。</p> <p>現在、本市の公文書管理及び保存は、情報公開部門ワースト自治体の柏原市よりかなり劣っています。</p> <p>(1) 本市は、本市の公文書管理の現状をどのように認識していますか。</p> <p>そして、どう改善するのかお聞かせください。</p> <p>さて、「情報公開は民主主義の通貨」、「公文書管理は民主主義の基礎」といわれながらも、情報は、市民の手を離れ、「公権力等の情報機関のもの」になりさがっています。わたくしが情報公開請求すれば、本市は、黒塗りののり弁状態で開示するので、審査請求や公開審査会でその黒塗りを次々とオープンにしてきました。</p> <p>最近の本市の非開示理由は、文書廃棄です。確かに文書を廃棄してしまえば、審査請求や公開審査会で覆されることもありません。廃棄すれば、隠蔽しやすいのでしょうか。</p> <p>しかし、その文書廃棄にどのような法的根拠があるのかが問題となります。</p> <p>本市は「富田林市文書取扱規則」に基づき、公文書を廃棄したと主張します。</p> <p>そこで、富田林市文書取扱規則第30条の保存期間をみると、5年で廃棄できる文書の範囲は、①在留管理その他外国住民に関する文書、②監査に関する文書、③契約等に関する文書、④情報公開、個人情報保護に関する文書、⑤消耗品及び材料に関する文書で重要なもの、⑥財産の取得、管理、処分等に関する文書、⑦備品の出納に関する文書、⑧予算、決算及び出納に関する文書で比較的重要なもの、⑨補助金に関する文書、⑩照会、回答等に関する文書で比較的重要なもの、⑪前記のほか、5年の保存を必要とする文書です。</p> <p>(2) 何故、『他人の土地を使用するときの同意書』を下水道は5年保存で、上水道は10年保存なのでしょうか。</p> <p>本市の文書保存期間における法的根拠を教えてくださいますようお願いいたします。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(3) 市職員は、市民の方が情報公開請求で開示しようとする公文書を特定できるよう教示しなければなりません。しかし、本市開発指導要綱には、他人の土地を使用するときに同意書の添付を求める規定がないことを奇貨として、本市職員が市民の方に対し「開発指導要綱に基づく同意書」と情報公開請求用紙に記載するよう求めたという経緯があります。市長の施政方針で、情報公開は市民の市政参加の原点だと言いますが、本市の情報公開・公文書管理について見解をお聞かせください。</p> <p>公文書管理及び情報公開が民主主義の根幹を支える基盤です。 全国的に、公文書管理と情報公開が総務部にある自治体が多いなか、本市の行政組織機構では、公文書管理が総務部総務課にあり、情報公開が市長公室都市魅力課にあります。</p> <p>(4) 何故、本市は公文書管理と情報公開を別の部課に分けているのですか。大阪府内で、本市と同様の行政組織機構をとっている自治体があれば教えてください。その自治体では、部が分かれているデメリットをどのように改善し、連携をとっているのかも併せて教えてください。</p>
		2. 市営住宅について	<p>住宅事業は、市が行う施策の中でも特に生活の基盤に直結するものの一つです。</p> <p>近年の住宅を取り巻く環境は、子育て世帯の減少や高齢者世帯の増加、生活保護世帯などの住宅確保要配慮者の増加などによる世帯の状況の変化や、甚大化する自然災害への対応、管理不全空き家による周辺環境の悪化への対応など様々な課題があります。</p> <p>住環境に関する事業は市民の安全、安心な暮らしを支えるために非常に重要な施策であることから、これらの事業に限られた市の予算、人員の中で効果的、かつ効率的に機能することが重要と考え、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 若松市営住宅、甲田市営住宅、錦織市営住宅の住戸数を教えてください。</p> <p>若松市営住宅については、第1住宅から第13住宅の内訳も併せて教えてください。</p> <p>(2) 市営住宅の平均賃料を教えてください。</p> <p>同じく、若松市営住宅については、第1住宅から第13住宅の内訳も併せて教えてください。</p> <p>(3) 各市営住宅の家賃収納方法を教えてください。また、各市営住宅の家賃収納率も併せて教えてください。</p> <p>(4) 各市営住宅の入居率を教えてください。若松市営住宅については、各住宅の内訳も併せて教えてください。</p> <p>(5) 各市営住宅の建設時期、建設費用、設計費用を教えてください。</p> <p>(6) 今後の市営住宅における展望を以下の点に留意しながらお聞かせください。</p> <p>① 民間住宅の水準が向上し、公営住宅管理に非効率が残存している状況で、公共政策目的との整合性について。</p> <p>② 住宅需要分析、自治体の制度設計の適切性の再検討(民間住宅を活用した借上公営住宅を含む)について</p> <p>③ 住宅別収支の把握の上に立った施策の検討について</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 自治体の備蓄食料やローリングストックの啓発について	<p>一般的に「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。</p> <p>このローリングストックは、全国の自治体で取り入れられている手法です。</p> <p>まず、神奈川県座間市は、災害と感染症との複合災害対策として、災害時に避難所で提供する備蓄食料を、炊き出しを前提としたものから個食タイプに一部切り替えしました。同市は常時8万5,000食の非常食を準備していましたが、追加で個食タイプ1万7,000食を用意しました。また、東京都板橋区では災害用の非常食にポテトチップスを採用しました。パッケージを防災用にデザインし、「防災スナック」として提案し、板橋区が実施する防災訓練の参加者に抽選で約2,000袋プレゼントしました。地域の防災意識向上につなげるのが狙いとのことです。日々の暮らしから備えを推進する「ローリングストック」の考えを広げることで、地域の防災意識の向上に貢献を目指すとしています。</p> <p>(1) 本市の備蓄食料について、その品目の全てを教えてください。また、各品目について何食保存しているのか、及びその賞味期限も併せて教えてください。</p> <p>(2) 過去5年間で廃棄した備蓄食料の数量等の詳細を教えてください。</p> <p>(3) 本市におけるローリングストックの活用計画及び啓発を教えてください。</p>
		4. マスクを外して合唱コンクール	<p>令和4年6月4日（土）、喜志西小学校で『学校現場における子どもの新型コロナウイルス感染症を考える』と題するPTA教室講演会が開催されました。そのPTA教室講演会は、富山大学付属病院小児科の種市先生を講師に招き、学校現場におけるコロナ対策についての先進的な取り組み等を教えて頂き大変有意義なものでした。</p> <p>富山市では、医療と教育が連携し、最新の医学的データに基づき、新型コロナウイルス感染症への対策を検討し、推進するため、「富山市立学校新型コロナウイルス感染症対策検討会議」を設置しています。その検討会議の結果、登下校時にマスクを外す事から始め、幼稚園児にはマスクをしない事を推奨し、運動会や合唱コンクールも開催されています。</p> <p>わたくしは、マスクなしでの合唱コンクールには驚きましたが、適切な距離をとり、換気を徹底すれば大丈夫であるとのことでした。</p> <p>富山市に出来て本市に出来ない理由はありません。</p> <p>(1) 本市も、富山市のように、「富田林市立学校 新型コロナウイルス感染症対策検討会議」を設置し、議論する場が必要だと考えますが、本市の見解をお聞かせください。</p> <p>次に、現在も、新型コロナウイルスなど感染症対策として、本市内の幼稚園・小中学校の黒板の真上に「オゾン発生器」が設置されています。</p> <p>富田林市医師会・感染症対策担当理事から、「新型コロナウイルス感染症対策で一番大事なことは換気であり、オゾン発生させて一定濃度でウイルスと接触させようと思えば換気と相反する、また、医師会としては『本来医学的に意味のないものを子どもたちの教育環境・生活環境に置くこと自体に問題がある』』とのご意見を頂いております。</p> <p>(2) 本市は、今後も子どもたちが下校した放課後や夜間にオゾン発生器を稼働させて役立てていくとのことでしたが、本市内の各幼稚園・各小中学校のオゾン発生器の稼働状況を教えてください。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
9	10番 左近 憲一  (質問方式) 一問一答	1. 日本国憲法、地方自治法に基づく法律の優位優先の原則について	(1) 行政立法、法規命令について (2) 検察庁法について (3) 権限、権利濫用の禁止原則について (4) 問責決議の意味について (5) 会議規則14条1項の規定について (6) 新聞、テレビ、メディア報道と会議規則の規定のどちらが優先するのか
10	2番 南方 泉  (質問方式) 一問一答	1. 本市のみどりの食料システム戦略推進について  2. 「子どもたちの日常を取り戻す」ために本市の考えを聞く	(1) 産地に適した環境に優しい栽培技術のサポートや新しい農産物等の研究について (2) 自然栽培やオーガニック・エコ農法に取り組む地域の事業者等のサポート体制構築を (3) 農業塾の人材育成現場などにおいて目標を決めてモデル地区を創出の検討を (4) 2025年までに国が募集する「オーガニックビレッジ」宣言をしてはどうか  (1) 小学校・中学校での不登校児童生徒増加の状況確認とその対策について問う (2) 炎天下における運動時・通学時の脱マスクの徹底についてどのように対策をしているのか (3) 医師が作成したリーフレットや指針を関係各位に配付・配信してはどうか（富山市：富山市教育委員会・学校・種市小児科医師の取り組みモデルを参考に） (4) 喜志西小学校でのPTA講演録画を富田林市教育委員会主導で教員研修や学校現場、地域に広げる取り組みをしてはどうか (5) 小・中学校教育現場における授業中のマスク着用と給食時の黙食を見直し通常に戻す検討を